

# かがやき



## 主な内容

- ・かがやく町民のつどい
- ・総会
- ・研修会
- ・県次世代人材づくり事業に  
参加して
- ・女性会議2011松江
- ・編集後記

昨年の広報誌は震災前に印刷しました。大震災に触れていないことに違和感さえ感じます。

この一年、大地震と津波、原発事故で私たちは何が大切なかを考えさせられました。かけがえのないものの再認識や、当たり前の日常を失う喪失感。

私たち、ここでこうして元気で暮らしていくことを守りたいですね。

「今日の夕ご飯は鍋にしよう」などと、いつもの暮らしのありがたさを感じつつ。

まず、家庭の民主化を。そこから、始まる。

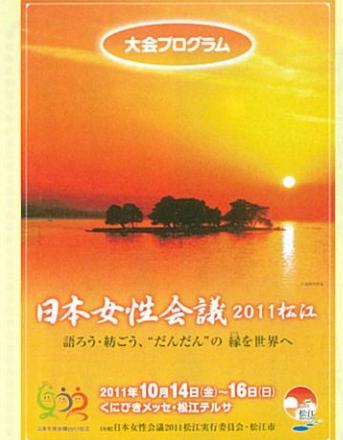
## 家庭とジェンダー

すべての女性が、すべての人が、尊重される家庭とは

「男は男らしく、女は女らしく」に賛成ですか？「男が妻子を扶養する」のは当然ですか？ 今日でも、日本の女性たちは、結婚すると90%以上が夫の姓に改姓し、第1子の出産までに70%以上が退職して夫の扶養家族となっています。女性たちの3人に1人がDVの被害を受け（男性では6人に1人）、離婚すると子どもの8割は母親が親権者となりますが、母子世帯の貧困率は50.2%（一般世帯16%）です。でも、男性のほうが自由で幸せかというとそうも言い切れません。自殺も過労死も大半は男性です。

すべての人が、自由で尊重される男女共生社会にふさわしい家族のあり方について、基調講演とパネルディスカッションを通して考えましょう。

「語ろう・紡ごう・だんだんの縁を世界へ」をテーマに雨の降る中、神々の国しまねでの開催となりました。こちらに来るのに飛行機は中高年で満席。私は出雲から電車で現地入りしましたが人の流れも皆、松江に何かつてその輪に押されるかのように会場へと向かって流れている感じがしました。私自信の都合上、一日目の十分科会がある内に松江テルサの第一分科会に参加しました。会の開催を通して、男女共同参画に関する市民



意識がますます向上し、地域が抱える様々な課題の解決が男女共同参画を切り口として進んでいく事を期待するというものです。200人位の方とコメントーターやパネリストの話を聞き、DVと虐待はセット、DVは7回繰返すとの話を聞き、ゾッとしたたり自分の家庭を思いホツとしたりの繰返しでした。韓国から嫁入りし、ことばの壁や風習、家事、育児に加え夫の親の介護など、多くの日本の女性も経験している苦労を経てきたが

意識がますます向上し、地域が抱える様々な課題の解決が男女共同参画を切り口として進んでいく事を期待するというものです。200人位の方とコメントーターやパネリストの話を聞き、DVと虐待はセット、DVは7回繰返すとの話を聞き、ゾッとしたたり自分の家庭を思いホツとしたりの繰返しでした。韓国から嫁入りし、ことばの壁や風習、家事、育児に加え夫の親の介護など、多くの日本の女性も経験している苦労を経てきたが

## 「日本女性会議2011松江」に参加して

本人は明るく語り、聞いた人を元気づけるほどの強くやさしい方でした。

介護は男も女もするものそして義務ではなく、自分からやろうとする気持ちが大切であるという事を学んで貴重な一日でした。

本人は明るく語り、聞いた人を元気づけるほどの強くやさしい方でした。

現在女団連加盟団体は五団体となってしまいました。そんな中、事業へ参加協力して下さった方々へ感謝すると共に、十二号発行にあたり、寄稿いただきました皆様に心よりお礼申し上げます。今後も女団連へのご協力を、よろしくお願い致します。

## 編集委員

菊地富士子 齋藤恭子  
斎藤芳子 大塚美枝  
酒井由理 廣木初江

## 編集後記

# かがやく町民のつどい

## かがやく町民のつどい

『すっきり暮らす』を学ぶ  
～片付け上手になろう～

講師 宇都宮友の会 渡辺よし江 氏

・衣生活 ..... 片付かないのはなぜ? ⇒ ポイントがあるんです  
・住まい方 ..... 使いやすく、すっきり ⇒ すぐに使えるアドバイス  
・実習 ..... さわって、納得(\*^\_^\*) ⇒ 作って、お持ち帰り

※牛乳の空きパック……ある方はお持ち下さい

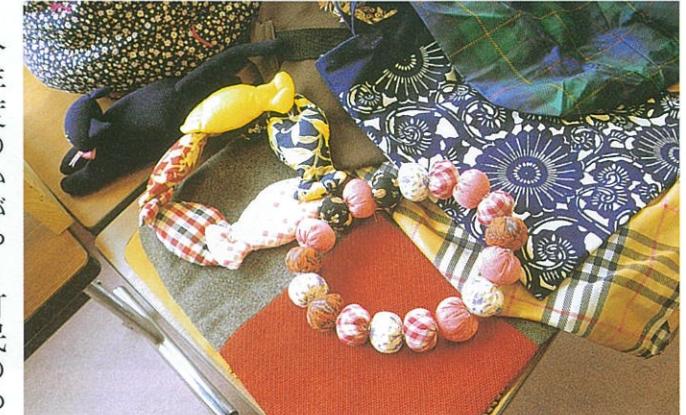
※片付けに役立つグッズを先着100名にプレゼント

日時 平成24年2月25日(土)午後1時～

場所 農業者トレーニングセンター 研修室



参加費：無料 お説明合わせのうえご参加ください  
男性の参加も!お待ちしております  
申し込み：町民会館 黒崎(月曜休み) ☎ 677-0009  
Fax 677-4918



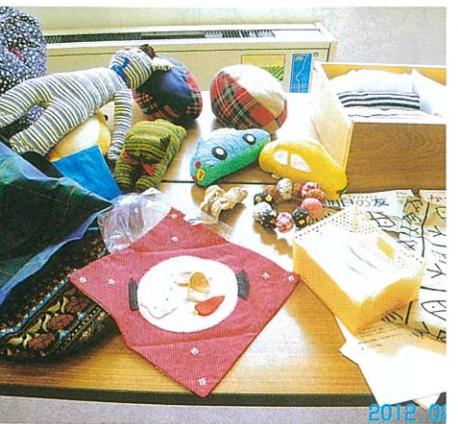
今年度のかがやく町民のつどいは、『すっきり暮らす』を学ぶ「片付け上手になろう」でした。普段の生活を見直すきっかけになればと思い開催しました。「断捨離」「片付け」「シンプルに暮らす」などの書物が売れ、整理整頓が商売になる中、物が有ることよりも始末をという時代になつて来たのです。限られた物の中でそれを大切にする方が、心ゆきつかけになればと思ひ開催しました。

震災もあり大変な時期でした。今年は岩村議長のご臨席をいただき、総会が開かれました。今年は「芳賀くらしの会」岡田知子さん議長の元、議事進行が

たかになると言うのです。今回の講師の渡辺先生、倉富先生は、ご自分の生活のありのままを、実物まで持参して下さいました。きちんと整理された箪笥の衣類に感嘆しました。見習うべく早速みんなで仕切り作りに没頭!参加者が持ち帰ったそれらで、箪笥が整理できたことと集い談笑し学び合えたことを成果としたいと思います。



## 平成二十三年度 芳賀町女性団体連絡協議会総会



### かがやく町民のつどいに 参加者として

農業者トレーニングセンターで「片付け上手になろう」が開催され参加しました。

衣生活の中の収納方法や着なくなった衣類のリサイクル方法等、生活に密着した、毎日の生活に役立つお話しを聞く事ができました。着なくなつたセーターがぬいぐるみになつたり生まれ変わった沢山のリサイクル品が展示されており、興味深く拝見させて頂きました。



祖母井 吉住 広子



祖母井 吉住 広子



祖母井 吉住 広子

実習では、厚紙を使つたタンスの仕切りや牛乳パックで収納グッズを使つたり、広告で小物入れ箱の作り方を教えて頂いたり、楽しい時間を過ごさせて頂きました。早速家に帰つて、タンスの仕切りを使い、上手に収納する事が出来ました。これからも、「片付け上手になろう」を心がけ、生活して行きたいと思います。

実習では、厚紙を使つたタンスの仕切りや牛乳パックで収納グッズを使つたり、広告で小物入れ箱の作り方を教えて頂いたり、楽しい時間を過ごさせて頂きました。早速家に帰つて、タンスの仕切りを使い、上手に収納する事が出来ました。これからも、「片付け上手になろう」を心がけ、生活して行きたいと思います。

### 平成23年度芳賀町女性団体連絡協議会役員

| 役職  | 氏名    | 団体名          |
|-----|-------|--------------|
| 会長  | 廣木 初江 | 芳賀町ひばりの会     |
| 副会長 | 佐藤 幸枝 | 芳賀くらしの会      |
| 副会長 | 菊地富士子 | JAはが野芳賀地区女性会 |
| 書記  | 荷見イツ子 | 芳賀町ひばりの会     |
| 〃   | 黒崎 康夫 | 事務局          |
| 会計  | 小林 功子 | JAはが野芳賀地区女性会 |
| 〃   | 酒井 由理 | 芳賀くらしの会      |
| 理事  | 大島 知子 | JAはが野芳賀地区女性会 |
| 〃   | 大塚 美枝 | 芳賀ひばりの会      |
| 〃   | 関 優子  | 芳賀くらしの会      |
| 〃   | 小林 早苗 | 農村生活研究グループ   |
| 〃   | 大野谷 幸 | 農村生活研究グループ   |
| 〃   | 磯 孝   | とちぎつばさの会芳賀支部 |
| 〃   | 斎藤 芳子 | とちぎつばさの会芳賀支部 |
| 監事  | 斎藤 恭子 | 農村生活研究グループ   |
| 〃   | 増渕さつき | とちぎつばさの会芳賀支部 |

五月二十一日(土) 町民会館研修室において、豊田町長、岩村議長のご臨席をいただき、総会が開かれました。今年は震災もあり大変な時期でした。今年は「芳賀くらしの会」岡田知子さん議長の元、議事進行が

スムーズに運び無事終わる事ができました。総会終了後、関優子さんの日本女性会議きょうと報告、酒井由理さんの栃木県次世代人材づくり事業に参加しての報告会が行われました。

## 研修会

十月一日(日)

地震体験

煙体験

研修会に  
参加して

芳賀町女性団体連合会では  
昨年と今年のテーマを『人権  
を考える』としました。大き  
なテーマではありますが、理  
想とする社会を考えながら、  
どこに視点を置きどう考えて  
いかを学ぶ機会として、  
『ヒューマンフェスタとちぎ』  
に参加しました。

また、昨年の震災の経験から、  
県の防災館も訪問しました。

過去の地震をリアルに再現  
震度7までの地震が体験でき  
ます。

煙の充満した室内はまるで  
迷路のよう。ビルで火災に、  
あたったときの誘導灯による脱  
出の体験ができます。



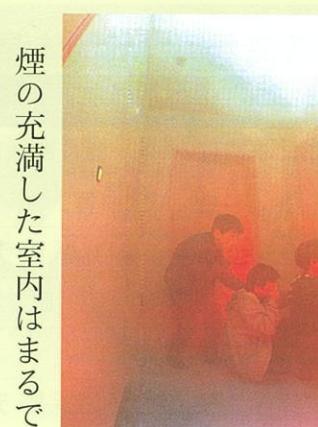
東水沼 濑下 悅子  
お友達に誘われて、防災館  
に初めて行く事が出来ました。  
昨年の東日本大震災、そして  
九月の台風で我が家は、車庫  
を、根こそぎ飛ばされたと言  
う被害を受けていた為、私に  
とって、地震・風・雨・の体  
験実習は身に沁みるものがあ  
りました。

午前中は、栃木県防災館を  
訪ねました。防災ビデオや係  
の人の説明に傾きながら、体  
験コーナーでは貴重な体験を  
してきました。また、災害時  
の備蓄など、会員の質問に丁  
寧に答えて頂きました。

『防災、減災』などを考  
る良い機会となりました。



大雨体験  
滝のような豪雨の中、音響  
と照明で再現された雷がとど  
ろきます。



自然災害の怖さ、自分の力  
では何も出来ない、どうする  
事も出来ない事を実感して、  
帰ってきました。  
滅多に出来ない研修をして、  
とても有意義な研修でした。  
その後、参加者全員とバスの  
運転手さんで頂いた昼食が、  
美味しかった事、楽しかった  
です。有難うございました。



## 午後の 研修



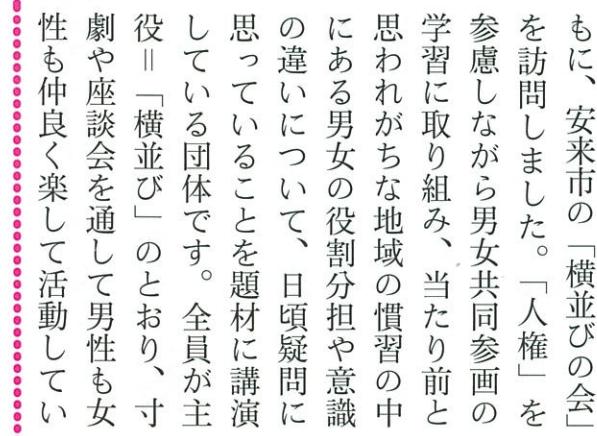
## 午前の 研修



午後は人権をテーマに毎年  
開催されている『ヒューマンフェ  
スタとちぎ』に参加しました。  
人権擁護団体の取り組み・D  
V被害者救済チラシ配布・盲  
導犬に触れ合おう・車いす体  
験など40ほどのブース出展・  
展示・体験コーナーがありま  
した。震災の大型写真も展示  
されていました。

昨年の町民のつどいは、聴  
覚障がい者の人権を扱った映

画『ゆずり葉』の上映でした。  
午後にはこの映画の主役だっ  
た、今井絵里子さんのライブ  
とトークがありました。彼女  
は、N H K の手話講座にも生  
徒として出演しています。我  
が子の耳が聞こえないという  
ハンデの中で、子育てを大変  
な事とは思っていないと言っ  
ていました。初めての育児が  
聞こえないなら、他のコミュニ  
ニケーションになつたのだと。  
今井さんの後ろのスクリーン  
には同時通訳のように、今交  
わされた会話が大きな文字で  
流れしていました。



## 栃木県次世代人材づくり事業に 参加して

東水沼 小林 久子

今年度は、東日本大震災の  
影響で例年より一ヶ月遅く開  
講式が行われました。その後、  
基礎研修・県外研修・応用研  
修・研修成果発表会があり、  
二月四日に終了しました。

県外研修では、島根県に行  
つきました。日本女性会議  
とともに、安来市の「横並びの会」  
を訪問しました。「人権」を  
参慮しながら男女共同参画の  
学習に取り組み、当たり前と  
思っていることを題材に講演  
している団体です。全員が主  
役!! 「横並び」のとおり、寸  
劇や座談会を通して男性も女  
性も仲良く楽して活動してい  
ます。

て素晴らしいです。  
応用研修では「グローカル  
社会に向けて」をテーマにグ  
ループワークを進めました。  
これらの研修では、地域も  
世代も職業も違う様々な出会い  
がありました。この出会い  
を生かし、地域に大いに役立  
てていきたいと思いました。

(左から3人が小林さん)